



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社  
コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 増川 尚利  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 059-340-0802  
平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,957	△0.7	1,241	△0.8	1,181	△5.5	712	△2.8
24年3月期第2四半期	17,080	1.1	1,250	36.2	1,249	48.5	733	60.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 705百万円 (△10.9%) 24年3月期第2四半期 791百万円 (125.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	36.33	—
24年3月期第2四半期	37.29	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,116	28,361	77.1
24年3月期	35,313	27,884	77.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 27,854百万円 24年3月期 27,415百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,200	1.9	2,200	△5.1	2,200	△9.2	1,300	0.2	66.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) Taiyo GmbH  
開封香麦士食品有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	23,513,701 株	24年3月期	23,513,701 株
25年3月期2Q	3,934,617 株	24年3月期	3,858,945 株
25年3月期2Q	19,617,192 株	24年3月期2Q	19,655,051 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みが見られるとともに、通貨不安による円高の長期化や、株安、電力料金値上げ、消費税増税への懸念や隣国との領有権問題による不安定要素など経済の先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、市場規模に拡大が見られない中、食の安全・安心に対する関心が一層高まるとともに、厳しい雇用環境や所得環境にともなう低価格志向・節約志向や企業間の激しい価格競争によりデフレ状況が続いております。加えて、食品原料の海外農産物の市場価格が高い水準にあるなど、依然として厳しい経営環境となっております。

このような経済環境の中で当社グループは、企業価値の向上による持続的な発展を目指して下記の諸施策に着手しております。

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は169億57百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。営業利益は生産性の改善によるコスト低減に努めましたものの原材料の上昇を吸収するまでには至らず12億41百万円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益は、為替相場の変動による為替差損があり11億81百万円（前年同四半期比5.5%減）、四半期純利益は7億12百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの状況と業績は次のとおりであります。

#### ①ニュートリション事業

水溶性食物繊維は、国内市場及び欧米市場の医療用途が好調に推移いたしました。アジア市場の乳製品用途は低調な動きとなりました。

緑茶抽出物は、国内市場でのサプリメント用途の採用や、欧米市場でのサプリメント用途が好調な動きとなりました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場の飲料用途、米国市場の飲料・サプリメント用途が好調な動きとなりました。

ミネラル製剤は、国内市場での乳製品用途がやや低調な動きとなりましたが、欧米市場でのサプリメント用途は好調に推移いたしました。

ビタミン製剤は、国内市場の美容・健康食品でやや低調に推移いたしました。

この結果、売上高は26億23百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は2億85百万円（前年同四半期比76.2%増）となりました。

#### ②インターフェイスソリューション事業

乳化剤は、樹脂用等の工業用乳化剤は堅調な動きとなりましたが、化粧品・トイレタリー用乳化剤や一般食品用乳化剤は低調な動きとなり、全体的に低調に推移いたしました。

飲料用素材は、乳化安定剤や乳化食品は堅調な動きとなりましたが、乳化・可溶化製剤は低調な動きとなりました。

安定剤は、冷菓用途及び飲料用途が好調な動きとなりましたが、惣菜用途は低調な動きとなりました。

この結果、売上高は58億83百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は7億42百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

#### ③アグリフード事業

鶏卵加工品は、液卵や卵加工品が堅調な動きとなりましたが、粉末卵は若干低い水準となりました。

即席食品素材は麺質改良剤が堅調な動きとなりましたが、具材関係は低調な動きとなりました。

フルーツ加工品は、冷菓・ヨーグルト・パン用途ともに好調な動きとなりました。

クレープ製品（薄焼き卵）は、昨年好調であった冷菓用途が落ち着き、低調な動きとなりました。

この結果、売上高は83億95百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は2億5百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

④その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は55百万円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期比365.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して8億2百万円増加して、361億16百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加6億38百万円、仕掛品の増加1億44百万円、原材料及び貯蔵品の増加2億96百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して3億25百万円増加して77億54百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加4億14百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比較して4億77百万円増加して283億61百万円となりました。これは主に、当四半期純利益7億12百万円の計上、及び配当金支払2億35百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.6%から77.1%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、Taiyo GmbH・開封香麦士食品有限公司2社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,221,771	4,352,555
受取手形及び売掛金	9,296,086	9,934,406
商品及び製品	2,395,426	2,348,898
仕掛品	403,790	548,169
原材料及び貯蔵品	1,846,200	2,143,050
その他	755,847	616,867
貸倒引当金	△63,760	△65,884
流動資産合計	18,855,363	19,878,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,645,114	5,471,684
土地	6,016,989	6,015,983
その他(純額)	2,443,470	2,537,402
有形固定資産合計	14,105,574	14,025,070
無形固定資産		
のれん	110,139	102,011
その他	322,635	314,095
無形固定資産合計	432,774	416,107
投資その他の資産		
投資有価証券	1,609,872	1,582,814
その他	350,750	254,399
貸倒引当金	△40,818	△39,966
投資その他の資産合計	1,919,805	1,797,247
固定資産合計	16,458,154	16,238,425
資産合計	35,313,517	36,116,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,678,227	5,092,994
短期借入金	282,933	257,466
未払法人税等	630,670	442,073
賞与引当金	232,053	326,741
その他	1,099,060	1,110,033
流動負債合計	6,922,944	7,229,309
固定負債		
長期借入金	8,325	7,825
退職給付引当金	21,509	32,901
役員退職慰労引当金	318,685	335,870
その他	157,465	148,912
固定負債合計	505,984	525,509
負債合計	7,428,929	7,754,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,704	7,918,704
利益剰余金	15,512,132	16,027,763
自己株式	△3,486,913	△3,532,892
株主資本合計	27,674,545	28,144,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,030	36,865
繰延ヘッジ損益	5,271	162
為替換算調整勘定	△325,254	△326,880
その他の包括利益累計額合計	△258,951	△289,852
少数株主持分	468,994	507,324
純資産合計	27,884,588	28,361,670
負債純資産合計	35,313,517	36,116,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	17,080,185	16,957,613
売上原価	13,123,226	13,034,602
売上総利益	3,956,958	3,923,010
販売費及び一般管理費	2,705,960	2,681,696
営業利益	1,250,997	1,241,314
営業外収益		
受取利息	4,320	5,479
受取配当金	21,462	21,411
持分法による投資利益	36,465	17,390
助成金収入	18,730	13,128
その他	45,267	47,749
営業外収益合計	126,246	105,159
営業外費用		
支払利息	21,936	23,619
為替差損	82,543	124,532
その他	22,922	16,621
営業外費用合計	127,403	164,773
経常利益	1,249,841	1,181,700
特別損失		
固定資産除売却損	5,537	4,227
投資有価証券評価損	—	8,355
特別損失合計	5,537	12,582
税金等調整前四半期純利益	1,244,304	1,169,117
法人税等	472,195	418,532
少数株主損益調整前四半期純利益	772,108	750,585
少数株主利益	39,096	37,838
四半期純利益	733,012	712,746

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	772, 108	750, 585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4, 867	△28, 881
繰延ヘッジ損益	△8, 525	—
為替換算調整勘定	29, 580	△16, 306
持分法適用会社に対する持分相当額	△6, 869	△392
その他の包括利益合計	19, 054	△45, 580
四半期包括利益	791, 163	705, 004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743, 820	681, 845
少数株主に係る四半期包括利益	47, 343	23, 158

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリション 事業	インターフェ イスソリューション 事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,297,799	6,036,144	8,700,894	17,034,838	45,346	17,080,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,297,799	6,036,144	8,700,894	17,034,838	45,346	17,080,185
セグメント利益	162,108	861,545	225,700	1,249,354	1,643	1,250,997

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリション 事業	インターフェ イスソリューション 事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,623,499	5,883,131	8,395,918	16,902,548	55,064	16,957,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,623,499	5,883,131	8,395,918	16,902,548	55,064	16,957,613
セグメント利益	285,575	742,430	205,661	1,233,666	7,647	1,241,314

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。